

鹿児島県立博物館研究報告

第15号 (平成8年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No.15 (1996)

小倉 順：鹿児島県産棘皮動物ウニ綱化石の検討	1
寺田 仁志：鹿児島県・黒島の植生と現存植生図	9
江平 憲治、小野田 繁：鹿児島県・黒島の昆虫類	39
黒江 修一：鹿児島県・黒島のサワガニについて	49
江平 憲治：トカラ列島・中之島、7月の昆虫類	53
黒江 修一：トカラ列島・中之島の動物資料収集記録	61
井上 洋一：博物館における教育普及活動の事例報告・楽しい実験コーナー	67
上原 順子：青少年の科学離れに関する自然史系博物館からの一考察	73
前迫 満子：考古資料館展示替え試案	77
江平 憲治：ヨーロッパの博物館を視察して	87

Jun OGURA : Study of Echinoidea Fossils from Kagoshima Prefecture	1
Jinshi TERADA : Vegetation of Kuroshima, Kagoshima Prefecture	9
Kenji EHIRA, Shigeru ONODA : Insects of Kuroshima, Kagoshima Prefecture	39
Syuichi KUROE : Documentation of Freshwater Crabs on Kuroshima, Kagoshima Prefecture	49
Kenji EHIRA : Insects of Nakanoshima, Kagoshima Prefecture, surveyed in July	53
Syuichi KUROE : Documentation of Animals on Nakanoshima, Kagoshima Prefecture	61
Youichi INOUE : Report on Educational Approaches for Using Museums —A Corner for First-hand Experiments—	67
Yoriko UEHARA : A Study of the Younger Generation's Lack of Interest in Science as seen from the Viewpoint of the Museum of Natural History	73
Mitsuko MAESAKO : A Tentative Plan for Alternating Exhibits in the Archaeological Data Hall	77
Kenji EHIRA : Report of the Inspection of European Museums	87

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

発刊によせて

ここに鹿児島県立博物館研究報告第15号を刊行することになりました。県立博物館が現在地に改装・移転されてから、今年で15年になります。この間に225万人の方々に利用していただき、心から感謝申し上げます。

本館では、郷土鹿児島の豊かな特色ある自然を楽しみながら知ってもらおうと、色々と工夫しながら展示内容の充実、教育普及活動等に努めております。

今年度から鹿児島の自然を広く紹介するため、「自然へのアプローチ普及活動事業（博物館がやってきた）」を始めました。県立博物館のもつ機能を移動展示するとともに、期間中に科学教室・野外自然観察会・天体観望会・楽しい実験などの教育普及活動を実施しています。

今後とも、展示内容・教育普及活動の基礎となる調査・研究、資料収集の一層の充実を図るとともに、それを活用する必要があります。

この研究報告書15号は、トカラ列島の中でも黒島、中之島を中心に動物の生息や植物群落の調査記録と考察、及び教育普及活動・展示活動などについての考察をまとめたものです。同時発刊の「奄美の自然」とともに活用して頂ければ幸いです。

平成8年3月

鹿児島県立博物館
館長 田尻昌也

鹿児島県立博物館研究報告
第15号 (平成8年)

発行日 平成8年(1996年)3月31日

発行所 **鹿児島県立博物館**

〒892 鹿児島市城山町1-1 (Tel 099-223-6050)

(Fax 099-223-6080)

印刷所 青葉印刷有限会社

〒890 鹿児島市武二丁目31-2 (Tel 099-251-1821)